

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 東京製綱株式会社
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 重人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 和規
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日

上場取引所 東大

TEL 03-6366-7777

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第2四半期 | 39,052 | — | 1,431 | — | 1,160 | — | 257 | — |
| 20年3月期第2四半期 | 34,693 | 8.2 | 1,241 | △19.5 | 911 | △34.8 | 118 | △82.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|---|--------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年3月期第2四半期 | 1.71 | | 1.70 | |
| 20年3月期第2四半期 | 0.79 | | 0.78 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--|--------|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 21年3月期第2四半期 | 109,400 | | 45,540 | | 39.2 | 284.68 | | |
| 20年3月期 | 108,303 | | 45,976 | | 40.0 | 287.55 | | |

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 42,895百万円 20年3月期 43,313百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年3月期 | — | 0.00 | — | 2.50 | 2.50 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期の配当予想については、当期の業績に加えて、先行きの業績見通し等を総合的に考慮して判断することとしているため、未定としております。
 なお、今後の配当方針については、決定次第公表する予定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 |
| 通期 | 86,000 | 9.6 | 4,100 | 1.0 | 3,500 | 4.9 | 1,700 | 50.3 | 11.28 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください〕(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
〔注〕 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 162,682,420株 20年3月期 162,682,420株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 12,000,151株 20年3月期 12,052,817株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 150,654,050株 20年3月期第2四半期 151,448,322株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、各国の株価の大幅下落や米国の金融機関の破綻など大きな金融危機に陥りました。その影響が実体経済に波及し始めており、世界的な景気後退局面を迎えております。わが国経済においても、生産調整や設備投資抑制の動きが見られるなど、今後の企業業績への影響が懸念される状況に至っております。

当社グループを取り巻く事業環境は、需要の大幅な落ち込みはないものの、線材価格や燃料価格の更なる上昇などにより、一段と厳しさが増しております。

このような事業環境の中、当社グループはエレベーターロープやソーワイヤ等の底堅い需要を確実に捉えた営業・生産活動の展開に加えて、昨年6月に策定した中期経営計画「ステップアップ8・7」の目標である、平成21年度の売上高800億円、売上高経常利益率7%以上の達成に向けて、新工法・差別化商品の投入、継続的な原価低減活動、海外事業の積極的展開等の施策を進めております。

その結果、販売面では、出荷数量が前年同期に比べ減少したものの、原燃料および材料価格の高騰に対応して製品価格の改定を行い、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,052百万円と前年同期比12.6%の増収になりました。

利益面では、原燃料および資材の価格高騰の影響があったものの、売上増に伴う増益要素が大きく、営業利益は1,431百万円(前年同期比15.3%増)、経常利益は1,160百万円(前年同期比27.3%増)となり、四半期純利益については257百万円(前年同期比116.2%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(鋼索鋼線関連事業)

鋼索部門では、販売数量が国内・輸出とも前年同期から減少しましたが、金額面では、主要材料である線材価格の値上げなどに対処すべく一部製品価格の改定を実施したことにより、前年同期に比して増加いたしました。

鋼線部門では、プロジェクトの実行遅れにより販売数量は前年同期から減少しましたが、金額面では、主要材料である線材価格の値上げなどに対処すべく一部製品価格の改定を実施した結果、売上高は前年同期に比して増加いたしました。

スチールコード部門では、ソーラーシステムの需要拡大や建設機械の生産増に伴うソーワイヤやホースワイヤの拡販、並びに東京製綱(常州)有限公司でのタイヤコードの出荷増により、販売数量は前年同期から増加しました。加えて、主要材料である線材価格の値上げなどに対処すべく製品価格の改定を実施したことにより、売上高は前年同期に比して増加いたしました。

以上により、当部門の売上高は23,465百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

(開発製品関連事業)

産業機械部門では、ワイヤソーの売上が順調に伸びましたが、自動計量機・包装機などの売上が減少いたしました。

環境建材部門では、公共工事縮減の影響で部材販売・工事ともに売上が減少いたしました。

その結果、当部門の売上高は前年同期比微増の9,659百万円(前年同期比0.1%増)に留まっております。

(不動産関連事業)

売上高は前年同期と横這いの704百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

(その他の関連事業)

石油製品部門での原油価格高騰に対応した製品価格の改訂を行ったことなどにより、当部門の売上高は5,222百万円(前年同期比20.7%増加)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,096百万円増加の109,400百万円となりました。これは、代金回収が進み売上債権が減少したものの、棚卸資産や有形固定資産などが増加したことが主な要因であります。

負債については、支払手形・買掛金並びに退職引当金などの増加により、前連結会計年度末と比べ1,532百万円増加の63,859百万円となりました。

純資産については、配当や株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ436百万円減少の45,540百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ936百万円減少し、955百万円になっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは利益の計上などにより、1,962百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産や投資有価証券の取得などにより、1,909百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払や長期借入金の返済があり、991百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社を取巻く事業環境は、世界的な金融危機や景気減速の影響により、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これに対し、当社グループは、中期経営計画「ステップアップ8・7」の目標実現に向けて諸施策を確実に実行し、業績の維持・拡大に努めていく所存であります。

平成21年度3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績や今後の事業環境の悪化影響を勘案して、平成20年5月14日公表の業績予想を見直し、売上高860億円、営業利益41億円、経常利益35億円、当期純利益17億円に修正しました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、税金等調整前四半期純利益が177百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 981 | 1,919 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,413 | 19,306 |
| 商品及び製品 | 5,086 | 4,448 |
| 仕掛品 | 5,429 | 4,548 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,603 | 2,861 |
| 繰延税金資産 | 1,984 | 1,939 |
| その他 | 4,151 | 3,825 |
| 貸倒引当金 | △137 | △143 |
| 流動資産合計 | 39,512 | 38,707 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 10,289 | 10,168 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 16,261 | 15,563 |
| 土地 | 20,853 | 20,908 |
| 信託固定資産（純額） | 8,585 | 8,734 |
| 建設仮勘定 | 809 | 946 |
| その他（純額） | 723 | 686 |
| 有形固定資産合計 | 57,521 | 57,008 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1 | — |
| その他 | 896 | 904 |
| 無形固定資産合計 | 897 | 904 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,564 | 6,403 |
| 繰延税金資産 | 1,795 | 1,730 |
| その他 | 3,330 | 3,811 |
| 貸倒引当金 | △265 | △263 |
| 投資その他の資産合計 | 11,424 | 11,682 |
| 固定資産合計 | 69,843 | 69,595 |
| 繰延資産 | 44 | 0 |
| 資産合計 | 109,400 | 108,303 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,108 | 15,479 |
| 短期借入金 | 13,847 | 15,461 |
| 未払費用 | 2,042 | 1,892 |
| 賞与引当金 | 1,080 | 1,108 |
| その他 | 3,019 | 2,260 |
| 流動負債合計 | 36,098 | 36,202 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,319 | 7,000 |
| 繰延税金負債 | 91 | 26 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 7,630 | 7,630 |
| 退職給付引当金 | 3,040 | 2,795 |
| 役員退職慰労引当金 | 194 | 198 |
| 信託長期預り金 | 6,788 | 6,698 |
| 長期前受収益 | 843 | 802 |
| 負ののれん | — | 85 |
| その他 | 852 | 888 |
| 固定負債合計 | 27,761 | 26,125 |
| 負債合計 | 63,859 | 62,327 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,074 | 15,074 |
| 資本剰余金 | 8,567 | 8,566 |
| 利益剰余金 | 8,669 | 8,948 |
| 自己株式 | △2,311 | △2,317 |
| 株主資本合計 | 29,999 | 30,271 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 648 | 744 |
| 土地再評価差額金 | 11,483 | 11,483 |
| 為替換算調整勘定 | 763 | 814 |
| 評価・換算差額等合計 | 12,895 | 13,042 |
| 少数株主持分 | 2,644 | 2,663 |
| 純資産合計 | 45,540 | 45,976 |
| 負債純資産合計 | 109,400 | 108,303 |

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 39,052 |
| 売上原価 | 32,659 |
| 売上総利益 | 6,392 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,961 |
| 営業利益 | 1,431 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 19 |
| 受取配当金 | 89 |
| その他 | 246 |
| 営業外収益合計 | 355 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 342 |
| 固定資産除却損 | 72 |
| その他 | 211 |
| 営業外費用合計 | 626 |
| 経常利益 | 1,160 |
| 特別利益 | |
| 移転補償金 | 73 |
| 特別利益合計 | 73 |
| 特別損失 | |
| たな卸資産評価損 | 97 |
| 特別損失合計 | 97 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,136 |
| 法人税等 | 965 |
| 少数株主利益 | △86 |
| 四半期純利益 | 257 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

| | |
|----------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,136 |
| 減価償却費 | 1,852 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △16 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 256 |
| 支払利息 | 342 |
| 受取利息及び受取配当金 | △108 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 757 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △2,283 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 459 |
| その他 | 217 |
| 小計 | 2,613 |
| 利息及び配当金の受取額 | 113 |
| 役員退職慰労金の支払額 | △3 |
| 利息の支払額 | △336 |
| 法人税等の支払額 | △424 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,962 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △314 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 82 |
| 貸付けによる支出 | △57 |
| 貸付金の回収による収入 | 58 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,324 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 24 |
| その他 | △378 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,909 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 202 |
| 長期借入れによる収入 | 1,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,823 |
| 配当金の支払額 | △377 |
| その他 | 6 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △991 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △13 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △952 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,891 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 53 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △37 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 955 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

| | 鋼索鋼線 関連事業 (百万円) | 開発製品 関連事業 (百万円) | 不動産 関連事業 (百万円) | その他の 関連事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 23,465 | 9,659 | 704 | 5,222 | 39,052 | — | 39,052 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 73 | 178 | — | 760 | 1,012 | (1,012) | — |
| 計 | 23,538 | 9,838 | 704 | 5,982 | 40,064 | (1,012) | 39,052 |
| 営業利益 | 745 | 20 | 405 | 259 | 1,431 | — | 1,431 |

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前第2四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)前四半期連結損益計算書

| 科目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日) |
|----------------|---|
| | 金額(百万円) |
| I 売上高 | 34,693 |
| II 売上原価 | 28,667 |
| 売上総利益 | 6,025 |
| III 販売費及び一般管理費 | 4,784 |
| 営業利益 | 1,241 |
| IV 営業外収益 | 276 |
| 受取利息 | 17 |
| 受取配当金 | 72 |
| その他 | 186 |
| V 営業外費用 | 606 |
| 支払利息 | 249 |
| その他 | 356 |
| 経常利益 | 911 |
| VI 特別利益 | 385 |
| 投資有価証券売却益 | 385 |
| VII 特別損失 | 613 |
| 役員退任慰労金 | 293 |
| 役員退任慰労引当金繰入額 | 174 |
| その他 | 145 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 683 |
| 法人税等 | 689 |
| 少数株主損失(△) | △124 |
| 四半期純利益 | 118 |

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

| | 鋼索鋼線 関連事業 (百万円) | 開発製品 関連事業 (百万円) | 不動産 関連事業 (百万円) | その他の 関連事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 20,015 | 9,652 | 698 | 4,326 | 34,693 | — | 34,693 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 79 | 202 | — | 783 | 1,066 | (1,066) | — |
| 計 | 20,095 | 9,854 | 698 | 5,110 | 35,759 | (1,066) | 34,693 |
| 営業利益 | 423 | 194 | 407 | 215 | 1,241 | — | 1,241 |

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。